

シリーズ わたし す きょうと 私の好きな 京都

発行：(公財) 京都市国際交流協会
<http://www.kcif.or.jp>
 lik web: <http://lik.kcif.or.jp/>

京都で散策する台北っ子

きゅう うんりゅう (台湾) 邱 雲龍

私は、クリスマスの日に、京都に住む娘と会うために、日本行きの飛行機に乗りました。一週間後は71歳の誕生日で、その日を娘と一緒に迎えたかったのです。はじめて一人で飛行機に乗るので、やや不安でしたが、娘と二人きりになるのは、久しぶりだと考えたら、わくわくどきどきして、とても複雑な気持ちになりました。娘が子どもの頃、台湾のいろいろな所へ遊びに連れて行った思い出がありますが、今回は、代わって娘が私を京都のいろいろな所へ連れて行ってくれたので、京都にはすぐに親しみを感じました。



きょうとすいぞくかん わたし 京都水族館にいる私

京都という町は、歴史の古都、文化の古都だと思っていましたが、それだけではなく、外国人にフレンドリーな町でもあると気づきました。娘のおかげで、Life in Kyotoの素敵なボランティアの皆様が招かれて、一緒に忘年会をし、京都人の情熱を感じました。kokokaを後にした私は、思わず何度も振り返って、頭に「有縁千里來相會」(縁があれば千里離れていても互いに出会うことができる)という言葉が思い浮かびました。この世は何と幸せなことか。

南禅寺、水路閣、そして蹴上発電所などへ足を運んで、疲れたので、「ブルーボトルコーヒー」で一息をついていたら、平安時代から、明治時代にタイムスリップし、現在に戻ってきたような気がしました。京都の人々が歴史の生きている町で人生を送ることができるなんて、私はとても羨ましかったです。

また、京都のようにグローバル化に直面している中で伝統を守れる町は滅多にないだろうと思いました。知恩院の除夜の鐘、八坂神社の「をけら詣り」が何百年経っても続けられており、幸運にも、京都の伝統的なお正月を体験することができました。

kokoka主催の「お茶会」で茶道の先生と私

5ページに続く



©あなたの感想を聞かせてください → office@kcif.or.jp

外国人のための情報誌「Life in Kyoto」でPRしませんか？
 ADVERTISE your activities in the "Life in Kyoto" newsletter!

「Life in Kyoto」を一緒につくりませんか？

ボランティアスタッフ募集

企画、取材、執筆、編集...etc
 あなたの“得意”を活かしませんか？

お気軽に お問合せください ☎075-752-3511 ✉office@kcif.or.jp



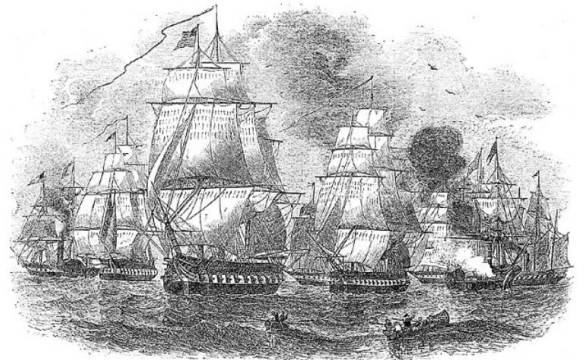
2ヶ月に1回発行
 1枠 10,000円～

広告募集中!!



坂本龍馬 - パックス・トクガワ* の遺産 (第一章)

坂本龍馬は、パックス・トクガワの時代を生きた多くの人々の中でも、日本の文化——勤勉さ、知性、誠実さ、他人への思いやり——をもっとも完璧に体現する人物です。彼は、幕末の混乱の最中に、ヨーロッパの列強国の暴力による抑圧から日本を守るという、大掛かりな夢を持っていました。かつて戦国時代、戦国大名たちは戦を繰り返し、人々に終わりのない悲しみと苦しみを与えましたが、それと同じように、周辺の列強国は同様の脅威を再びもたらそうとしていたのです。それを象徴づけたのが、ペリーの来航でした。その黒船の船団には、巨大な火炮が備えつけられていたのです。



ペリーの黒船

出典：ウィキメディア コモンズ

このことに危機感を覚えた龍馬は、勇敢に、この脅威を取り除く対策を模索しました。それはまるで、戦国時代の三人の天下人（織田信長、豊臣秀吉、徳川家康）による大掛かりな夢だった、諸大名の支配を押さえて、日本全土を統一しようという目標が、やがてパックス・トクガワを生み出したときのようなものでした。

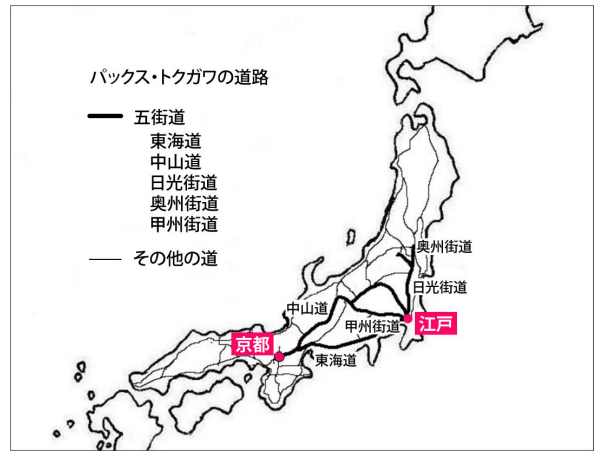


参勤交代 大名行列

出典：ウィキメディア コモンズ

坂本龍馬の物語は、大きく二つの観点から話をすることができます。ひとつは、パックス・トクガワの「慈悲の統治」がもっていた強みという観点から。もうひとつは坂本龍馬という人物そのものからです。

日本では、その歴史の始まりから、「直系家族」と呼ばれる家族構成をもっていました。直系家族はパックス・トクガワの社会を支える基盤となり、「日本」を形作るあらゆるものが、この社会をもとにして生まれてきました。直系家族はパックス・トクガワの時代にとって、もっとも大きな強みだったのです。



徳川時代の交通経路

直系家族とは、「最初に生まれた男子が、父親の持っている家、土地、資産などを引き継ぐ、遺産継承のルール」のことです。その家のほかの子供たちは、ふつう生まれた家を離れる決まりでしたが、一方で、そうせずに、生まれた家で最初の男子と共に生活を続けることもありました。直系家族制は、日本という国の発展に大きな影響を与え、日本が今日のほかの国々とも異なる、ユニークな国になるおもな要因となりました。

また、「慈悲の統治」とは、統治される人々が、どのような統治を、自分たちの代表者に望むのかを聞くことです。これを実現するため、「ひとつの直系家族につき一票」という仕組みが発展し、また徳川幕府は「参勤交代」という法令を、日本全土の260あまりの大名たちに守らせました。参勤交代とは、全国の大名を一年おきに江戸に集ませ、つねに全国の大名のうち半数を江戸に集め、江戸での政治に関わらせた制度のことです。こうした大名たちは政治的に活発で、みずからの配下である直系家族や、その直系家族の領内の農民のために、様々な提案や政策、法令を出していました。江戸に集まる130あまりの大名たちの意見を通して、徳川幕府はすべての直系家族の意見を集めていたのです。

さて、坂本龍馬は彼自身の直系家族やパックス・トクガワという時代に、どう関わっていたのでしょうか。これについてのどんな解釈をお話するのも、高度に芸術的・詩的なセンスが必要なのでしょう。でも、私が

2ページに続く

3ページから続く

考える彼の物語はとてもドラマチックで、興味深いものであることをお約束します。次号のLife in Kyotoで、その驚くべき結末をお話ししましょう。坂本 龍馬の物語の *pièce de résistance* をお楽しみに！

* パックス・トクガワ…徳川家康が1603年に征夷大将軍となってから、1868年の明治維新までの間の、長く続いた平和な時代。一般には「江戸時代」としてよく知られる。

** 徳川幕府…ペリーが黒船で江戸に来航した時の日本の政府。

*** *pièce de résistance*…フランス語で、「主要な、特筆すべき要素」という意味。

真田 清二 著、Sho 訳

世界自閉症啓発デー

皆さんは「自閉症」という言葉を聞いたことはありますか？これは、発達障害の一種で、自閉症の人たちは、脳の発達の仕方の違いから、「コミュニケーションが苦手」「ひとつの物事に集中しすぎてしまう」などといった特徴を持っています。しかし一方で、「細かなことに気がつく」「ルールを守り、几帳面」などといった、長所になる特徴も持っています。

脳の発達の違いを原因とする、こうした傾向の強さや、どのような特徴を持っているかは、人によって異なり、ふだんは問題なく生活できるという人もいれば、適切な支援がないと社会生活が困難な人もいます。現在では、そうした現状を踏まえて「自閉症スペクトラム障害」という、より広い範囲の精神特性を含む言葉が使われています。

国連では、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」と定め、4月2日から4月8日を「発達障害啓発週間」としています。日本でも「世界自閉症啓発デー・日本実行委員会」が組織されていて、自閉症スペクトラム障害や学習障害などの発達障害について理解を深めてもらう活動が行われています。

啓発デーと啓発週間には、全国各地で啓発イベントやライトアップイベントが行われます。京都市内では、4月2日に京都駅ビル駅前広場で啓発イベントが行われ、京都府庁と二条城西南隅櫓、京都タワー(4月3日も開催)では青色の光にライトアップされます。もしも啓発イベントに出会ったり、青色のライトアップを見たりしたら、発達障害を持った人が周りにいるかもしれないことを思い出してください。そうした人たちは、本人がわかりやすいように説明を受ける、人混みや大きな音や光が苦手な場合はできるだけその刺激を避けるなどのサポートによって、より生活しやすくなります。

「世界自閉症啓発デー」やイベントについて、詳しくは以下のホームページを確認してください。



主催：京都府発達障害者支援センター、京都府、京都府発達障害者支援センター「はばたき」、京都府発達障害者支援センター「ひばり」、京都府発達障害者支援センター「はばたき」
後援：京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター、京都府発達障害者支援センター

日本自閉症啓発デー実行委員会：<http://www.worldautismawarenessday.jp/htdocs/>
京都府自閉症協会：<http://as-kyoto.com/>

かなや ちなみ
金谷 千菜美、Sho

きょうと 京都のマルシェ



よしだりょう しゅってんしゃ
吉田寮マルシェの出店者たち

京都ではとてもユニークなマルシェがたくさん開催されているのを知っていますか？ どのマルシェもとても個性的で、普段は出会えないようなおいしい食べ物や素敵な雑貨にあふれていて、たくさんの人が訪れています。

京都のマルシェのおもしろいところは、「場所」でもあります。神社やお寺、京町家など、京都らしさを感じられる場所でのマルシェは、お店を見る楽しみはもちろんですが、風景の美しさや、文化を感じることもできます。

先日私は、これまでのマルシェとは違うちょっと変わった京都ならではのマルシェに参加してきました。その名は、「吉田寮マルシェ」です。

吉田寮、とは京都大学のキャンパス内にある、学生寄宿舎です。この建物は、日本最古の大学建築物であり、学生たちの自治による学生寮として有名です。ここ数年、老朽化を理由に建物を取り壊す計画が進んでいますが、建物の存続を目指す学生や有志たちが、さまざまな催しを企画しています。



ひと にぎ よしだりょうしょくどう
たくさんの人で賑わう吉田寮食堂

そんな中、吉田寮でマルシェが行われました。京都だけでなく、日本中から出店者が集まり、訪れる人の国籍もさまざまです。マルシェの楽しい雰囲気に誘われるように来る人ももちろん、その歴史ある自治寮に興味を持って来る人もいます。このマルシェには、吉田寮の存在価値を知ってもらう重要な役割も感じられます。

お店だけでなく、この日は落語や、ダンス、バンド演奏、さらには子供が自由に遊べる空間も用意されており、訪れる人たちを楽しませていました。



じゅう あそ こども
自由に遊べる子供スペース

普段の生活空間を新鮮にしてくれる京都のマルシェ。皆さんもお気に入りのマルシェを見つけに行ってみてはいかがでしょうか？

※吉田寮マルシェに興味を持っていた方はFacebookのページをチェックしてください。
(随時更新。)

※京都のマルシェ情報 <http://www.kyotodekuraso.com/>

とくだもとこ
徳田 宗子

1 ページから続く

台湾の騒ぎ立てるカウントダウン花火とはまったく違う形で、新年を静かに迎えることができて、心がとても落ち着きました。

誕生日の朝に、娘から「雲龍」という和菓子をもらいました。京都に私の名前と同じ和菓子があるなんて夢にも思いませんでした。午後、世界遺産として登録された宇治の平等院にまで足を延ばしました。鳳凰堂の美しさに驚いてしまって、見とれていた私を見て、娘は、「この鳳凰堂は昔の貴族が極楽浄土の世界を心の中に具現化するための建築物だ」と言いながら、屋根の両端に羽を伸ばす鳳凰の像を指さしました。台湾では、「龍」、「鳳」はともに神の使いだと思われているので、子供が立派な人になるよう期待する気持ちは、一般に、「望子成龍、望女成鳳」という言葉で表します。私も娘が立派な人になって欲しいという期待があるので、娘の名前の中に「鳳」を入れたのです。二度と戻らないと思っていた楽しい父娘の時間が京都で戻ってきたなんて。ありがとう京都！

12 日にわたる父娘の京都の旅はあっという間に終わりましたが、私の人生の中で最高の贈り物でした。帰国後も、京都で父娘二人が肩を並べて歩く夢を何回も見ました。



びょうどういん わたし
平等院にいる私

ほんやく きょうりよくりん しゅうほう すずき ひでとし
翻訳・協力：林 秀鳳 / 鈴木 秀利

kokoka 京都市国際交流会館
としょ しりょうしつ
図書・資料室

としょ レター

2019/4・5

📖 オススメの一冊

『世界の個性派 カフェ&レストラン』

PIE BOOKS 編著、
パイ インターナショナル、2016)



この本には、世界中の個性あふれるカフェとレストランがたくさん紹介されています。

場所が断崖絶壁にあったり、全面ガラス張りの水中にあったり、そしてインテリアもかなり奇抜で豪華。まさに「個性派」です。

図書・資料室へ読みに来てください。みなさんが行きたくなるカフェやレストランが必ずひとつは載っていると思います！

おめでとう！2019年、京都とアメリカのボストンは姉妹都市提携60周年を迎えました。この機会に『ボストン・ワシントンDC便利帳2017年度版VOL.13』(Y's Publishing Co., Inc. 2017)を読んで、ボストンそしてアメリカの首都ワシントンDCについて知ってみるのはいかがですか。たくさんの方の情報が掲載されていますよ。ぜひ読んでみてください。

📖 図書・資料室には こんな本もあります

外国人が日本で生活するための本

日本語学習、法律ビザ、日本文化、京都観光、いろいろな国の新聞

日本人が外国を知るための本

海外旅行、留学、ロングステイ、ワーキングホリデー、ボランティア

貸し出しはしていません。

【オープン】9:30~20:30
(月曜日&月末最終日閉室)

【TEL】075-752-1187

【FAX】075-752-3510

きょうとはつ あたら しょくぶんか 京都発の新しい食文化



オシャレでリッチなカフェが五条西大路西南にあると聞き、出かけました。そのカフェは小川珈琲本店*で、創業は1952年に京都で、国内展開に加えて今では米国ボストンにも支店があります。

店に入ると、色んな珈琲豆がショーケースされており、産地は中東・インドネシア・中南米が多いようです。本店近くには焙煎する工場があります。ケーキもショーケースされていて、自家製で各種あり、抹茶を組みこんだものもあります。

コーヒーとスイーツ

コーヒー2杯と抹茶スイーツを注文しました。カップとその皿は花鳥の模様をあしらった、京都で昔からある陶磁器の清水焼でした。コーヒーを一口飲むと、その甘い味とアロマが口の中に広がりました。スイーツは抹茶クリームとチョコを多層にしたもので、口に入れると苦さと甘さがハーモニーしていました。それからコーヒーを再び飲むと先程の味とアロマがケーキを少しも残さず入れ替わりました。



かくしゅ まめ
各種コーヒー豆

小川珈琲は、単にコーヒーとケーキが美味しいだけでなく、もっと印象的なのは世界中から珈琲豆を取り寄せ京都の伝統を活用していることです。その店には京都らしい雰囲気があり、抹茶スイーツがあり、国産の陶磁器を使っています。これら要素を組み合わせて新しい食文化を作ったことには本当に称賛します。



かくしゅ
各種スイーツ

* https://www.oc-creates.jp/shop/kyoto_honten/



ふるた とみよし
古田 富好

メンバー

生田 稔 / 岩井 ニコラス / カール ジャンスマ / 金谷 千菜美 / 川崎 雅司 / 郭 聖宏 / 胡 侃欣 / 古園 美樹 / 鈴木 翔 一 朗 / 鈴木 秀利 / 田村 和美 / 徳田 宗子 / 永田 宙 / パク スミン / 藤田 葵 / 古田 富好 / 矢木 貴之 / 八木 俊幸 / 湯澤 公朗 / 林 秀 鳳



LIK web ページ QR コード (日本語、英語、中国語)
ご感想・ご意見をお待ちしています!

発行: (公財) 京都市国際交流協会 (<http://www.kcif.or.jp>)

TEL: 075-752-3511 FAX: 075-752-3510 E-mail: office@kcif.or.jp

〒606-8536 京都市左京区粟田口鳥居町 2-1 地下鉄東西線 [T09] 蹴上駅より 徒歩 6 分

開館時間: 9:00 - 21:00

休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合は翌日休館)

